※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	基本ワーク　数学（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、社会に出て生活をしていくうえで、身につけておくべき数学の知識を、幅広く学習します。１，２年生で学んだ内容についても振り返りながら、実践的な問題演習に取り組みます。
自分の苦手な分野や忘れている分野は特に力を入れて復習をしましょう。実践練習では、「解けた！」という喜びをできるだけ多く味わえるように、いろいろな問題に精一杯チャレンジしましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数と式，図形と計量，二次関数，図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考察する力，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，二次関数，図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できている。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	論理的に考察することができる。事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察することができる。問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	1 数の計算① 2 数の計算② 3 数の計算③ 4 式の計算① 5 式の計算② 6 式の計算③ 7 因数分解① 8 因数分解② 11 根号を含む式の計算① 12 根号を含む式の計算② 13 式の値 14 1次方程式 15 連立方程式 16 2次方程式① 17 2次方程式② 20 文章問題① 21 文章問題②	a：四則計算が正確にできる。乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。方程式、不等式の性質について理解し，その解を求めることができる。 b：問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式、不等式を問題解決に活用しようとしている。解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
2学期	二次関数／図形と計量	22 文章問題③ 23 文章問題④ 24 1次関数のグラフ① 25 1次関数のグラフ② 26 2次関数のグラフ① 27 2次関数のグラフ② 35 三角比① 36 三角比②	a：二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。二次関数の最大値や最小値を求めることができる。正弦定理や余弦定理について理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 b：二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 c：二つの数量の関係や図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	図形の性質	28 図形と角 29 合同な図形 30 相似な図形 31 円 32 図形の面積 33 三平方の定理 34 立体の表面積･体積	a: 三角形､円､空間図形に関する基本的な性質について理解できている。定理や公式を理解し，それらを用いて長さや面積を求めることができる。 b: 図形の性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c: 図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
3学期	場合の数と確率	37 規則性の問題 38 場合の数 39 順列 40 組合せ 41 確率① 42 確率② 41 確率① 総合実力テスト	a: 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めることができる。 b: 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c: 確率の考え方を用いて，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度